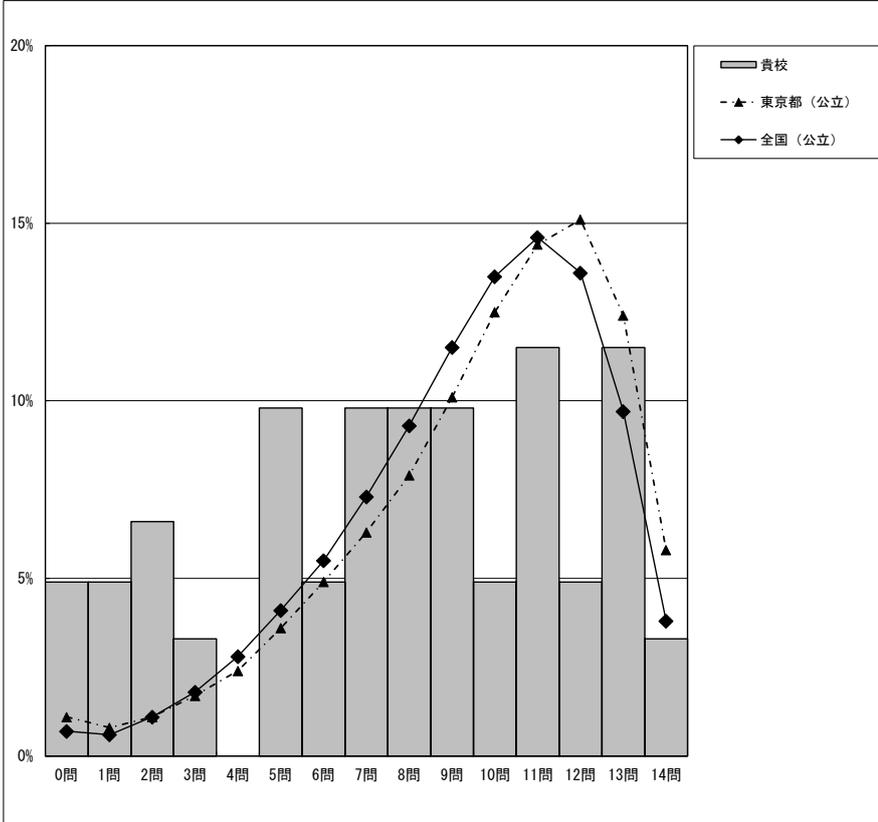


・以下の集計値／グラフは、4月18日に実施した調査の結果を、児童を対象として集計した値である。  
 ※ただし、4月18日に調査を実施していない学校については、4月19日以降4月28日までに実施した調査の結果を集計した値とする。

	児童数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
江戸川区立二之江第二小学校	61	7.7 / 14	55	8.0	4.0
東京都(公立)	92,171	9.7 / 14	69	10.0	3.1
全国(公立)	964,177	9.4 / 14	67.2	10.0	2.9

正答数分布グラフ(横軸:正答数 縦軸:割合)



正答数集計値				
正答数	割合(%)			
	児童数	貴校	東京都(公立)	全国(公立)
14問	2	3.3	5.8	3.8
13問	7	11.5	12.4	9.7
12問	3	4.9	15.1	13.6
△ 11問	7	11.5	14.4	14.6
10問	3	4.9	12.5	13.5
◇ 9問	6	9.8	10.1	11.5
◇ 8問	6	9.8	7.9	9.3
7問	6	9.8	6.3	7.3
6問	3	4.9	4.9	5.5
▽ 5問	6	9.8	3.6	4.1
4問	0	0.0	2.4	2.8
3問	2	3.3	1.7	1.8
2問	4	6.6	1.1	1.1
1問	3	4.9	0.8	0.6
0問	3	4.9	1.1	0.7

※今回の調査での四分位は以下の通りでした。

	貴校	東京都(公立)	全国(公立)
△ 第3四分位	11.0問	12.0問	12.0問
◇ 第2四分位	8.0問	10.0問	10.0問
▽ 第1四分位	5.0問	8.0問	8.0問

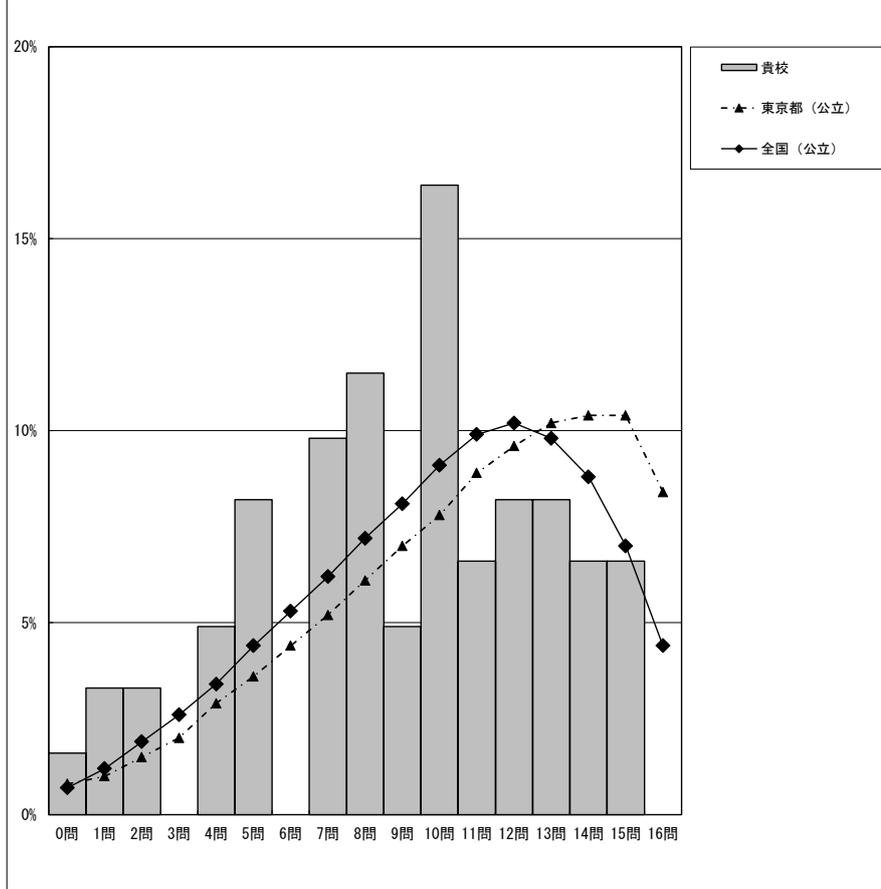
上表の通り、令和5年度の平均正答率は、東京都平均から14ポイント、全国平均から12.2ポイント下回っている。観点別にみると、「知識及び技能」、「思考・判断・表現」共に、東京都平均正答率から落ち込みが10ポイント以上みられた。

今後の授業実践の中では、基礎的・基本的な学習内容の定着がしっかりとできるように教科書の音読を重視し、読むことを中心に学習を進めていく。文章中の情報を視覚的に分かりやすく整理したり、文章と図や表を比較し内容の理解をしたりする学習活動を増やしていく。また、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを工夫してまとめられるようにする。

・以下の集計値／グラフは、4月18日に実施した調査の結果を、児童を対象として集計した値である。  
 ※ただし、4月18日に調査を実施していない学校については、4月19日以降4月28日までに実施した調査の結果を集計した値とする。

	児童数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
江戸川区立二之江第二小学校	61	9.1 / 16	57	10.0	3.8
東京都(公立)	92,209	10.7 / 16	67	11.0	3.9
全国(公立)	964,350	10.0 / 16	62.5	11.0	3.8

正答数分布グラフ(横軸:正答数 縦軸:割合)



正答数集計値				
正答数	児童数	割合(%)		
	貴校	貴校	東京都(公立)	全国(公立)
16問	0	0.0	8.4	4.4
15問	4	6.6	10.4	7.0
14問	4	6.6	10.4	8.8
13問	5	8.2	10.2	9.8
△ 12問	5	8.2	9.6	10.2
◇ 11問	4	6.6	8.9	9.9
◇ 10問	10	16.4	7.8	9.1
▽ 9問	3	4.9	7.0	8.1
▽ 8問	7	11.5	6.1	7.2
▽ 7問	6	9.8	5.2	6.2
▽ 6問	0	0.0	4.4	5.3
▽ 5問	5	8.2	3.6	4.4
▽ 4問	3	4.9	2.9	3.4
▽ 3問	0	0.0	2.0	2.6
▽ 2問	2	3.3	1.5	1.9
▽ 1問	2	3.3	1.0	1.2
▽ 0問	1	1.6	0.8	0.7

※今回の調査での四分位は以下の通りでした。

	貴校	東京都(公立)	全国(公立)
△ 第3四分位	12.0問	14.0問	13.0問
◇ 第2四分位	10.0問	11.0問	11.0問
▽ 第1四分位	7.0問	8.0問	7.0問

上表の通り、令和5年度の平均正答率は、東京都平均から10ポイント、全国平均から5.5ポイント下回っている。領域別にみると、「数と計算」と「図形」が、また観点別にみると、「思考・判断・表現」が、東京都平均正答率から落ち込みが10ポイント以上みられた。

今後の習熟度別算数少人数指導では、高い習熟度の児童には問題解決型授業を積極的に行い自力解決・話し合い・共有の取組という流れを授業スタンダードにしていく。支援の必要な児童には、基礎的・基本的な学習内容の定着を重視し、掛け算九九・大きな数の引き算等の苦手個所を徹底的に調査し、速く正確に解答できるよう授業時間や給食準備中等の隙間時間を使い習熟させていく。また、見やすく分かりやすいノート指導を行い、計算過程を残すことを大事にしていく。児童自身が、どこで間違えたのかを見直す習慣も身につけさせていく。